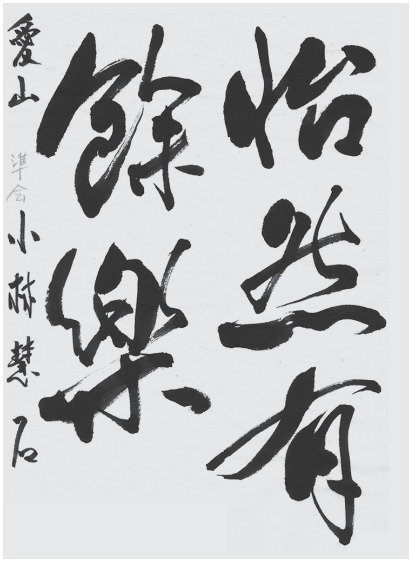
今月の最優秀作品

11月提出の競書の写真版全作品は、11月19日（木）より本会ホームページに掲載いたします。

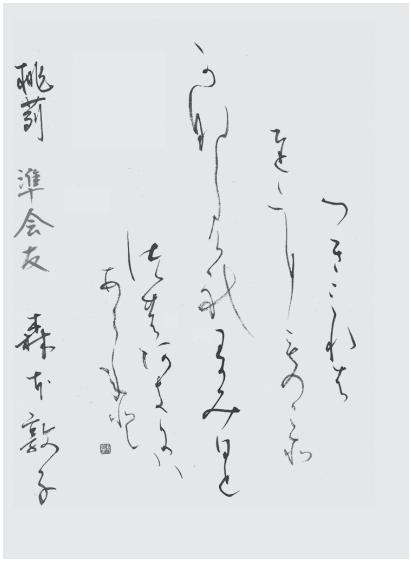
【漢字半紙】



愛山　小林　慧石　愉快活発、勢いよく筆を走らせ乍らも肥痩のバランスが自然で余白と調和。特に「有・楽」が出色。落款も良。

（審査評　池田　知之）

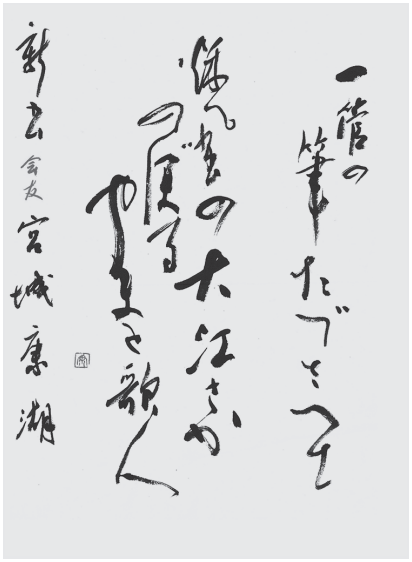
【かな半紙】



桃苅　森本　敦子　墨色美しく余韻ある渇筆が作品を大きく見せた。穏やかな筆運びは品致高く優しさを感じ心ひかれる作となった。

（審査評　中條　琳音）

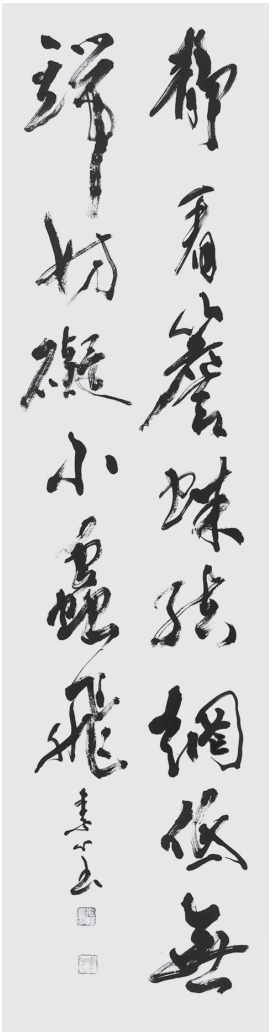
【新和様半紙】



新書　宮城　康湖　字の大小、太細、字型運筆を自在に変化させ明るく筆勢のある作。余白を十分にとり布置もよく品致がある。

（審査評　東仲　遙邨）

【漢字条幅】



采女　熊野　素心　字大と線の太細・潤渇の変化や、濃墨を駆使しての余白との調和は練磨の証とみる。品致の高い秀作。

（審査評　永井　香樹）

【かな条幅】



祥瑞　河野　愛子　「澤」を「さわ」と書いた作品が多い中、沈着かつ安定した力量を見せた。墨色爽やかで、躍動した線は空間を大きく捉え、余白の深さを感じさせた。

（審査評　中島　永岳）

【新和様条幅】

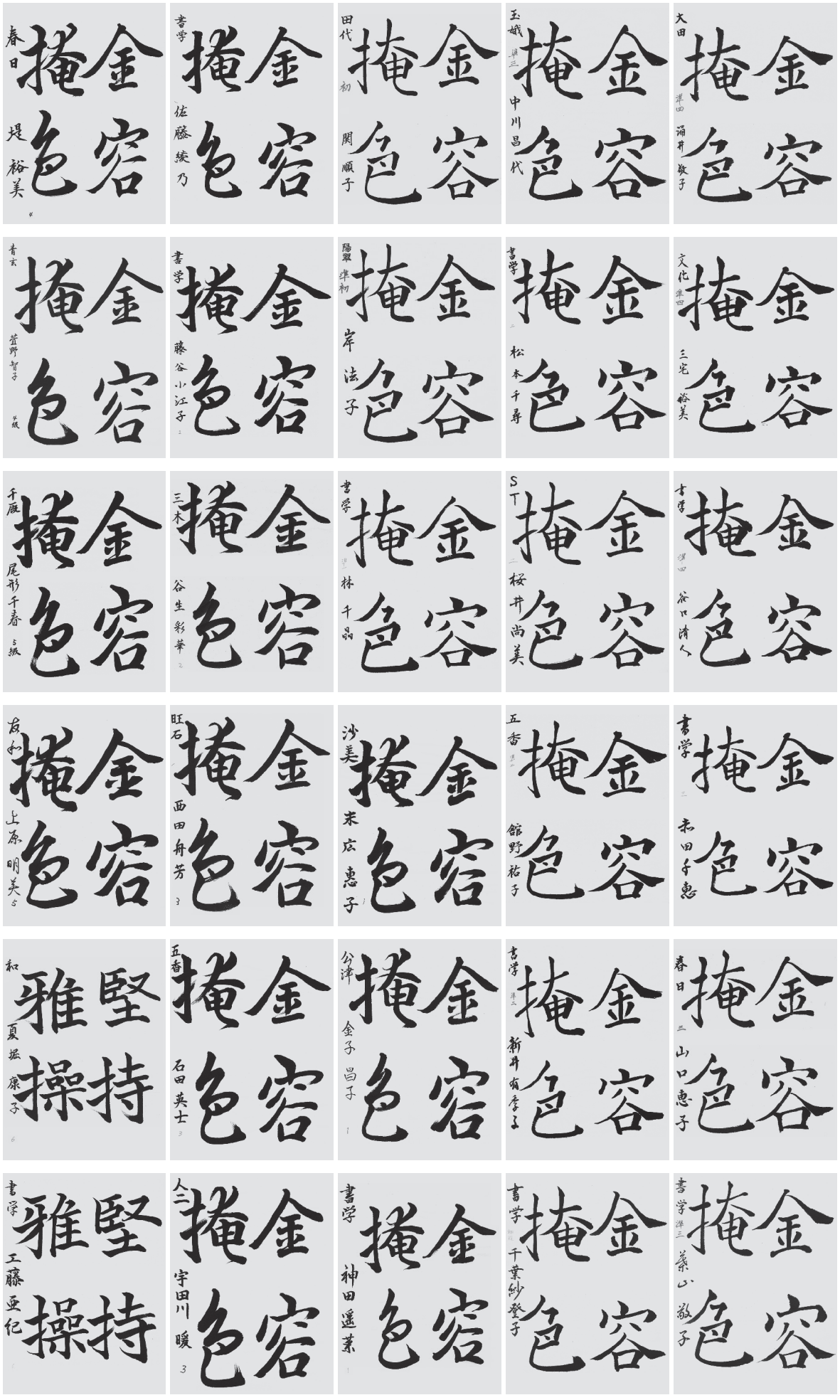


伊賀　石田　春代　筆の開閉と潤渇の変化、抑揚ある流暢な運筆が見事である。「けむりの」の渇筆は情感あり、洗練された作である。

（審査評　二宮　桂秀）

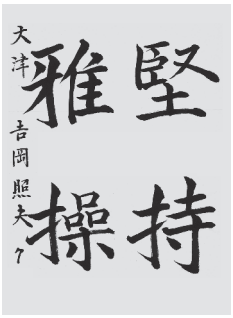


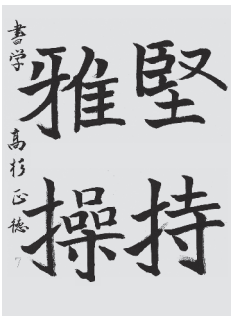
漢字半紙

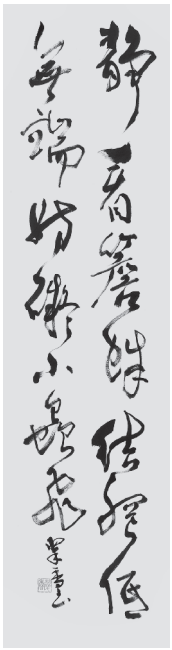

金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
金容掩色
堅持雅操
堅持雅操
金容掩色
金容掩色

漢字条幅・漢字半紙

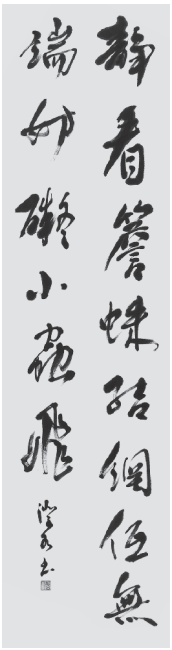
今月の優秀作品



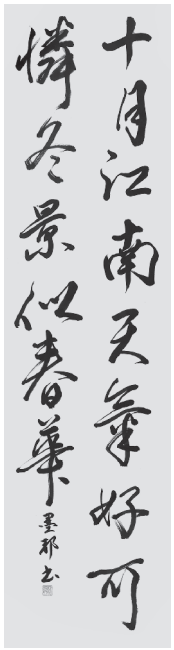




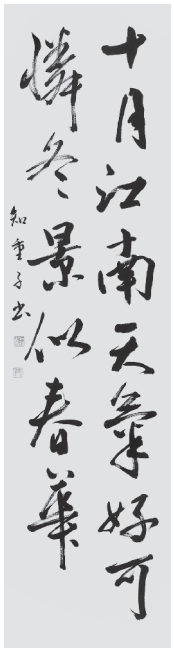
佐賀　木村　翠香



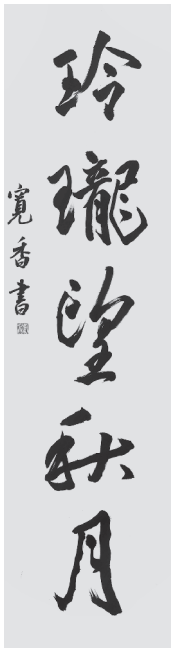
万里　神之田澄水



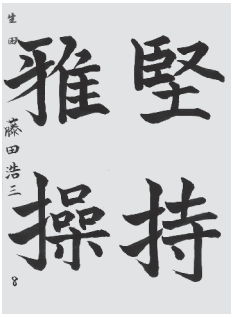
青葉　中村　恵子

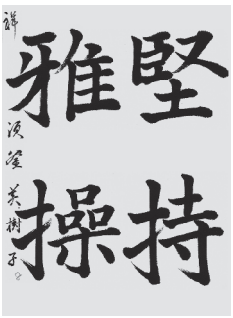


千東　石川知重子



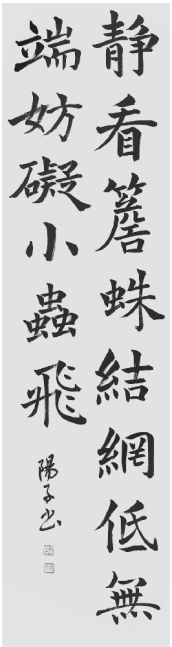
大井　天方　寛香



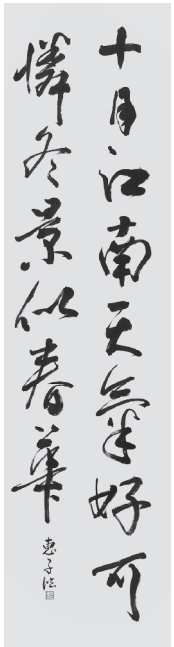




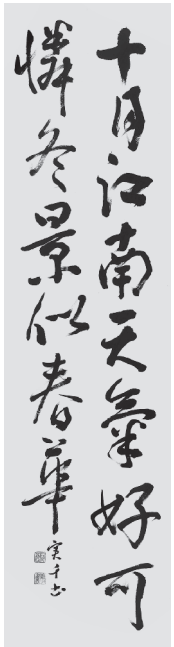
平泉　千葉　方彩



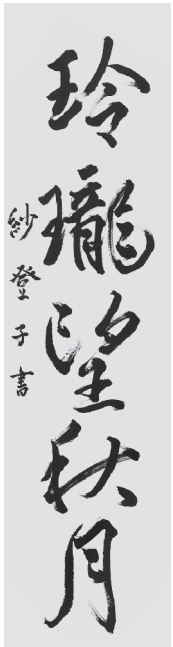
書学　宗像　陽子



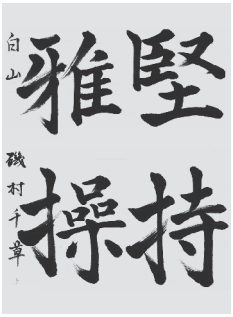
草扇　和田　恵子

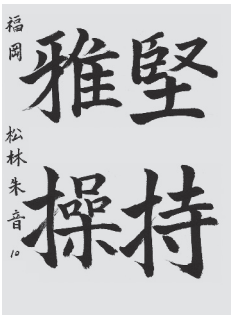


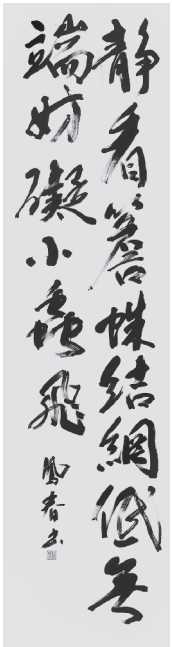
書学　林　実千子



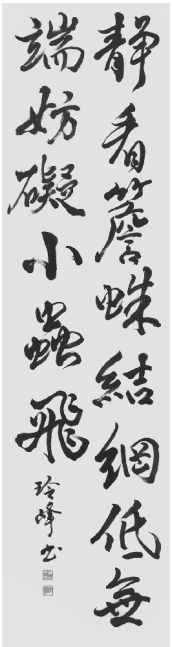
書学　千葉紗登子



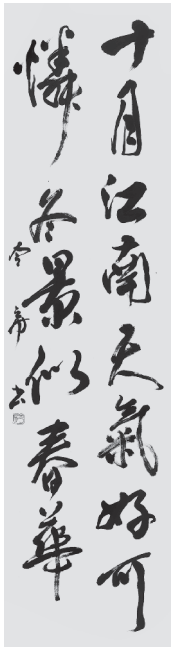




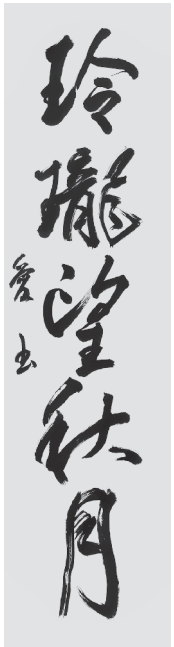
欣書　民部田鳳春



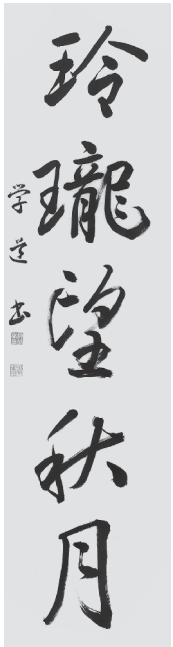
袖　横山　玲子



梧星　吉田　令房



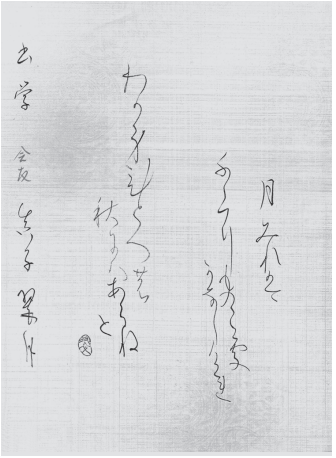
永岳　北出　愛

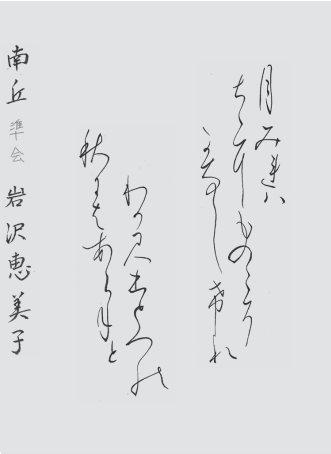


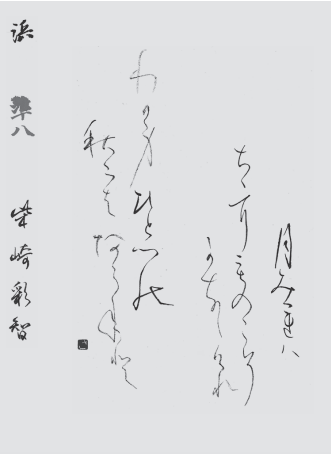
姫路　築谷　学道

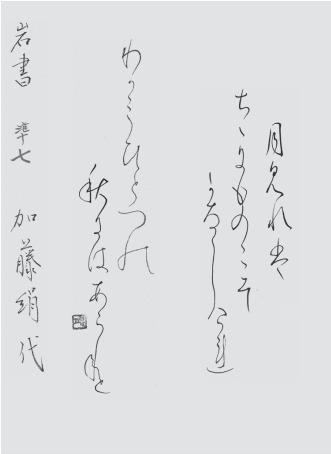
今月の優秀作品

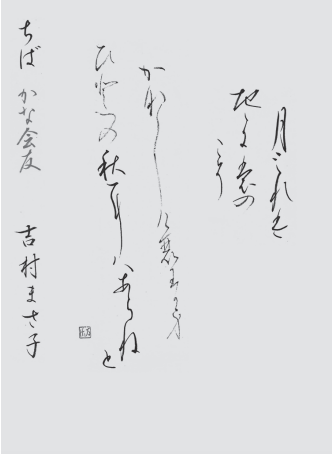
かな半紙

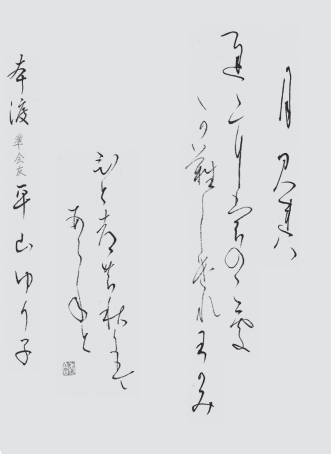

出学 会友 [illegible]

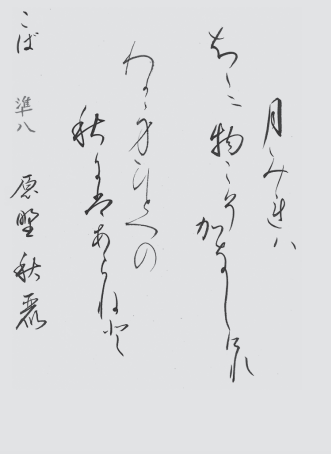

南丘 準会 岩沢恵美子

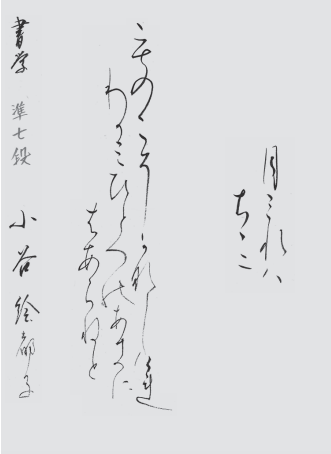

浜 準八 柴崎彩智

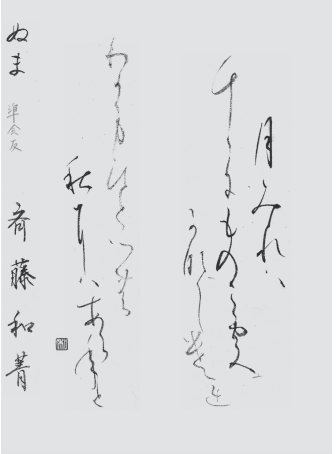

岩書 準七 加藤絹代

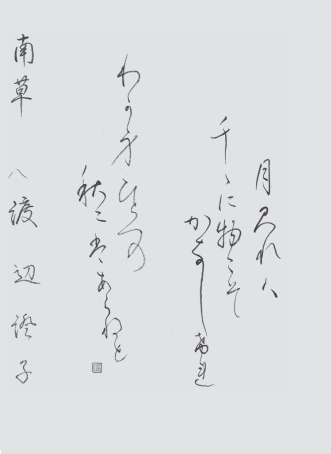

ちば かな会友 吉村まさ子

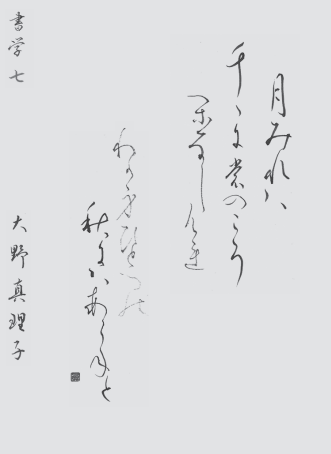

本渡 準会友 平山ゆり子

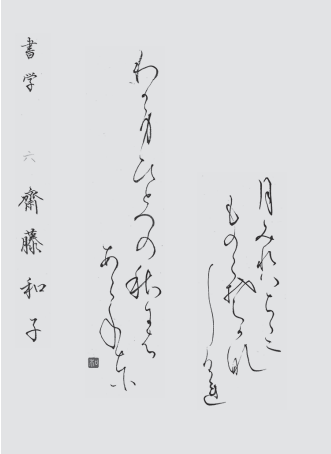

こば 準八 原野秋霞

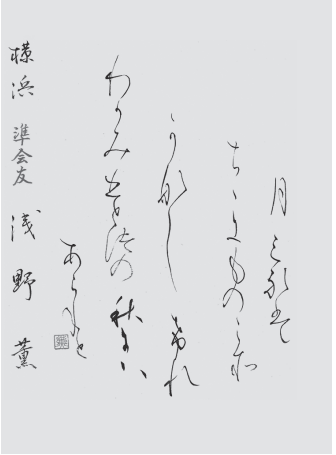

書学 準七段 小谷絵都子

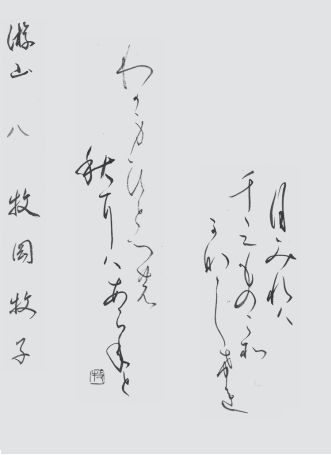

ぬま 準会友 斉藤和菁

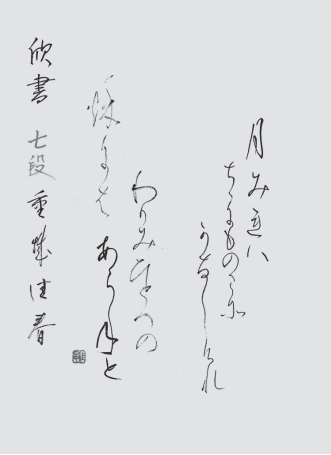

南草 八渡辺澄子

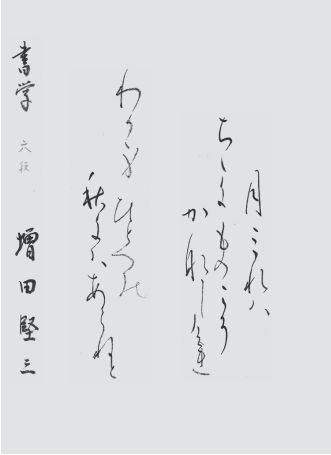

書学七 大野真理子


書学 六 齋藤和子


様浜 準会友 浅野薫

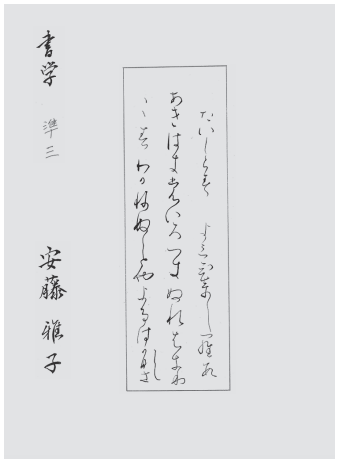

滝山 八 牧岡牧子

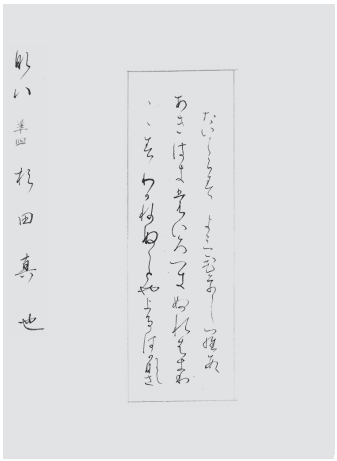

欣書 七段 重栄佳香

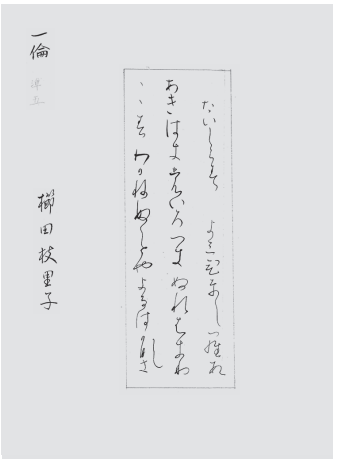

書学 六段 増田堅三

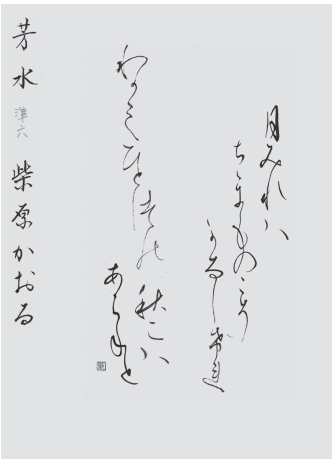
かな半紙

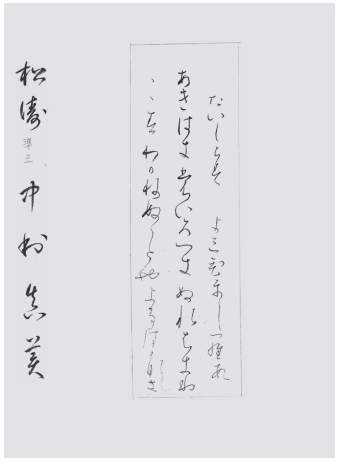
今月の優秀作品

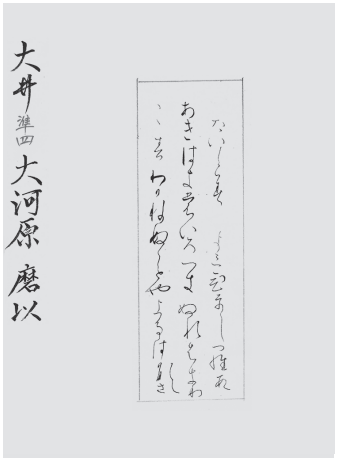

書学 準三 安藤雅子

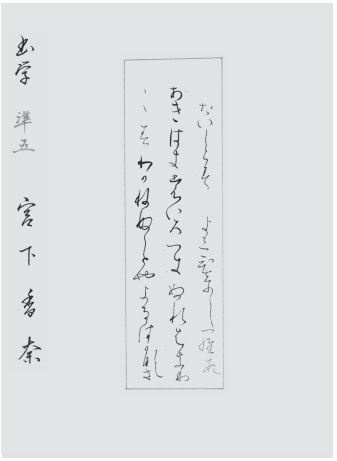

明い 準四 杉田真也

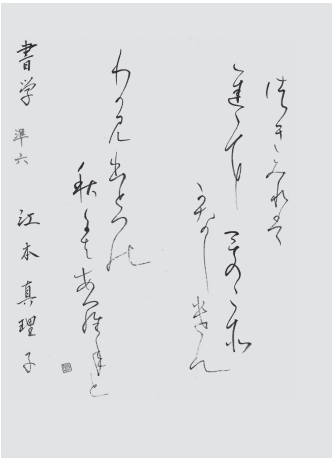

一倫 準五 櫛田枝里子

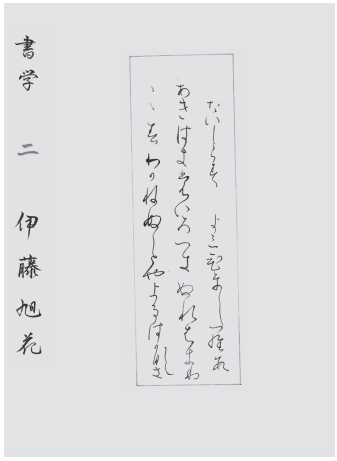

芳水 準六 柴原かおる

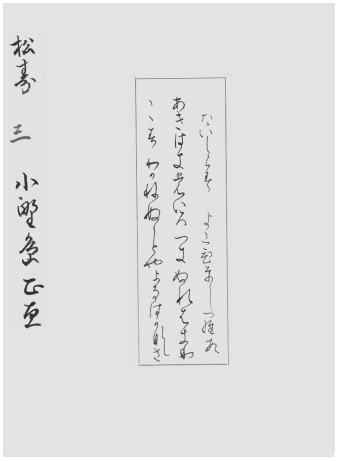

松濤 準三 中村 [illegible]

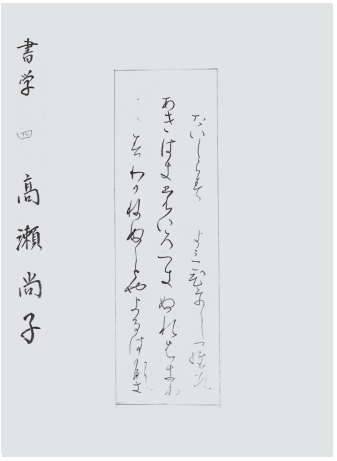

大井 準四 大河原磨以

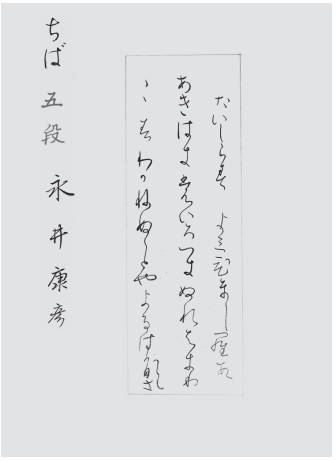

出学 準五 宮下香奈

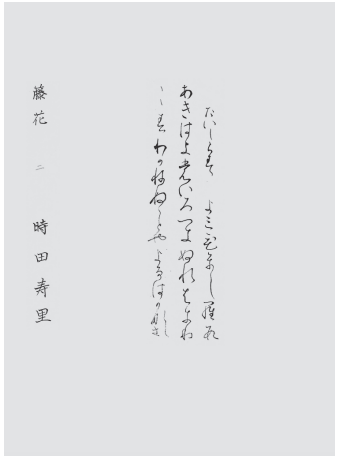

書学 準六 江本真理子

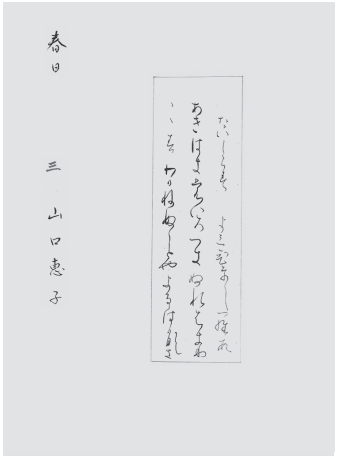

書学 二 伊藤旭花

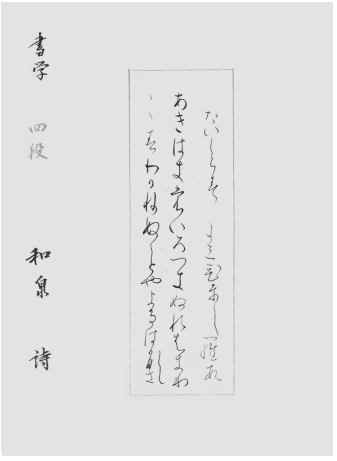

松壽 三 小堅多正至

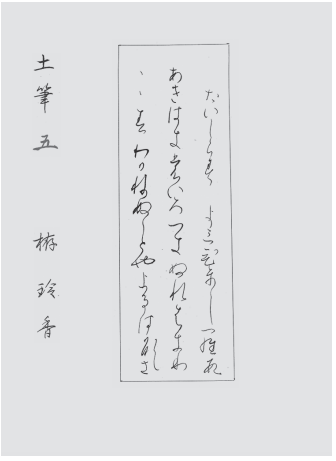

書学 四 高瀬尚子


ちば 五段 永井康彦

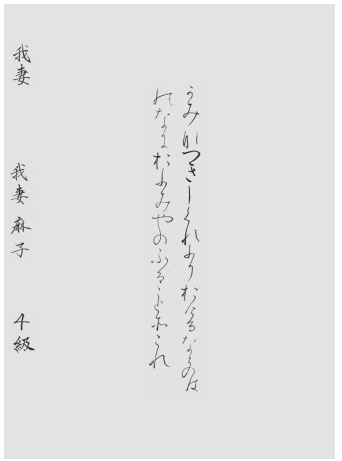

藤花 二 時田寿里

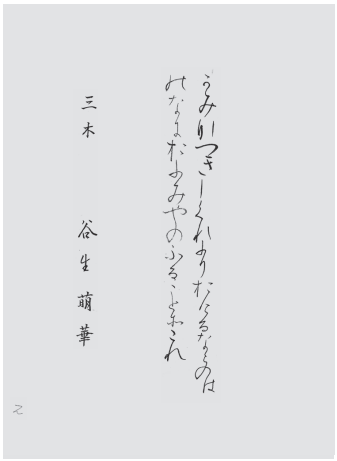

春日 三 山口恵子

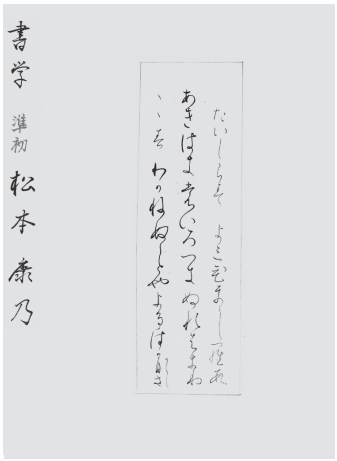

書学 四段 和泉詩

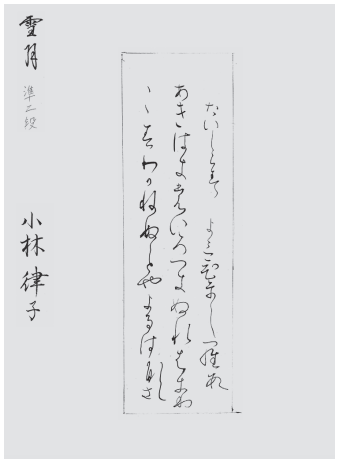

土筆 五 椿玲香

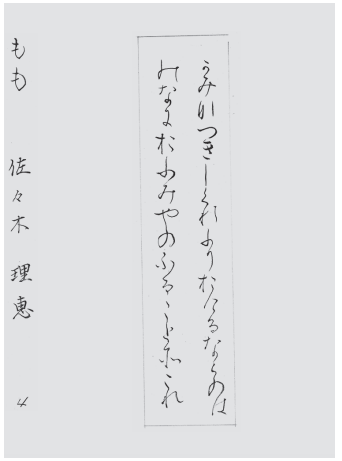
かな半紙

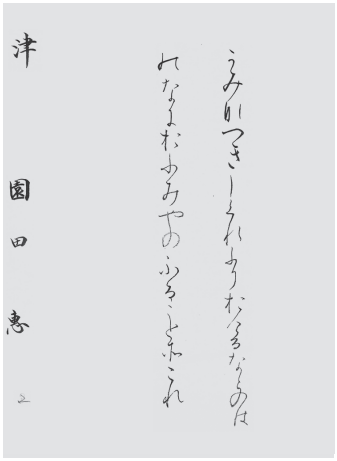


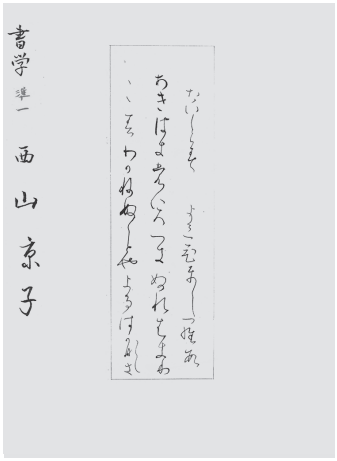


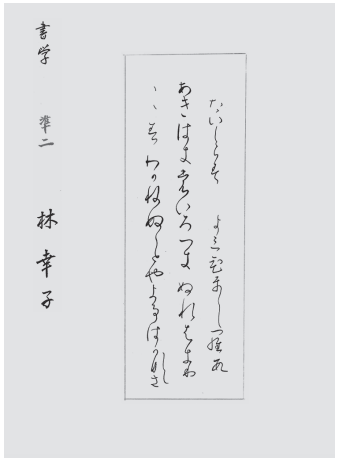


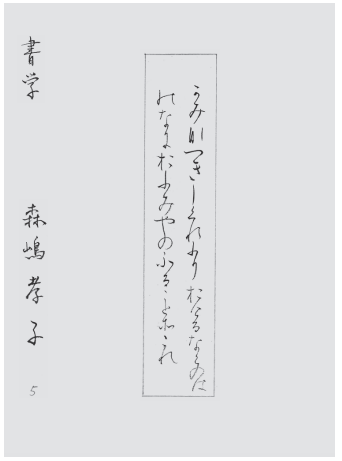


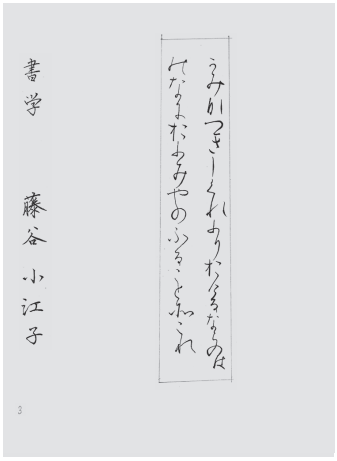


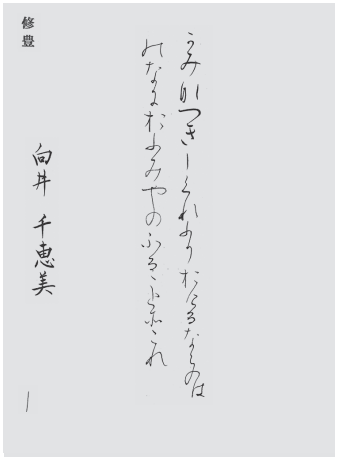


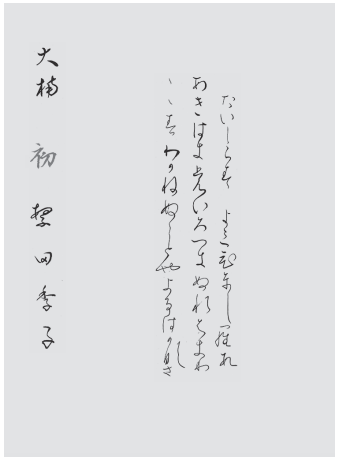


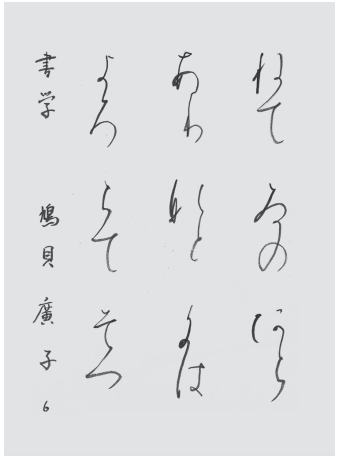


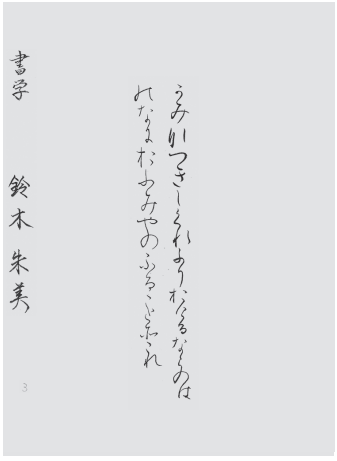


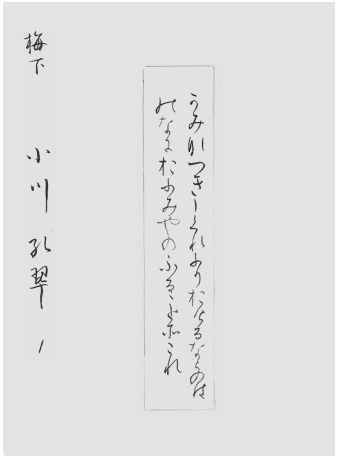


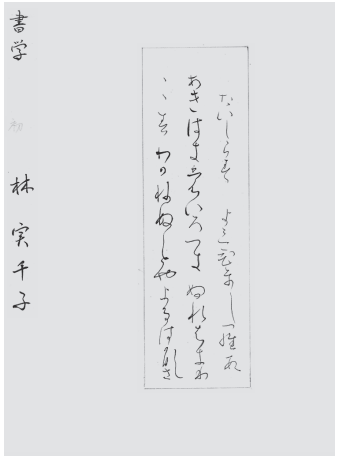








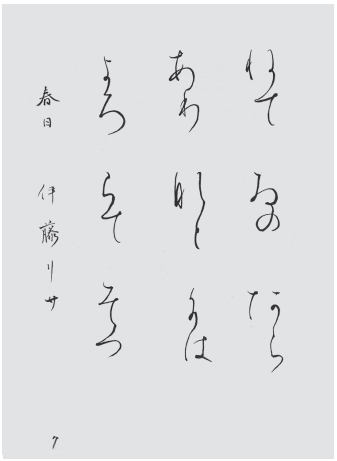


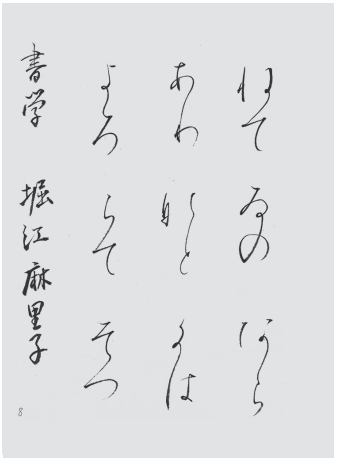


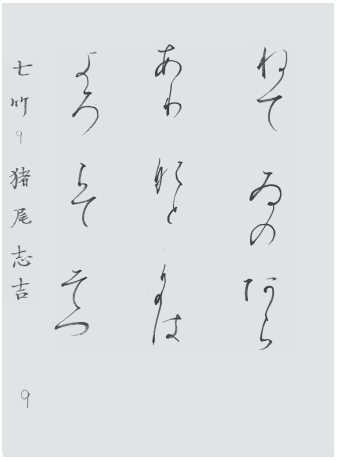
今月の優秀作品

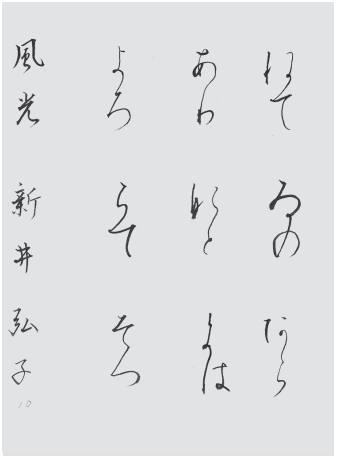
かな条幅・かな半紙

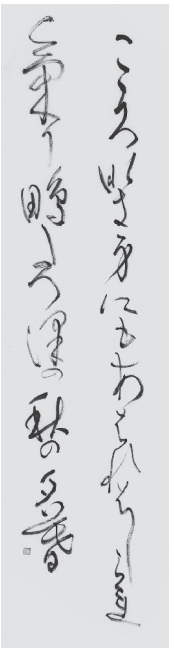
今月の優秀作品

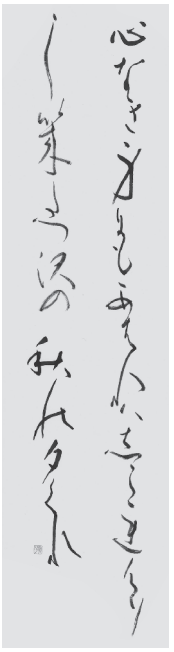

春日　伊藤リサ　7

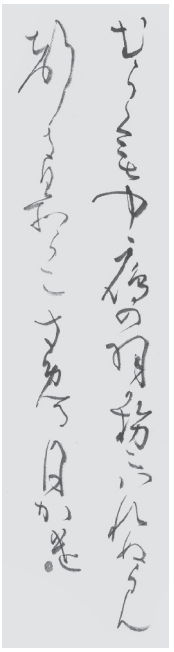

書学　堀江麻里子　8

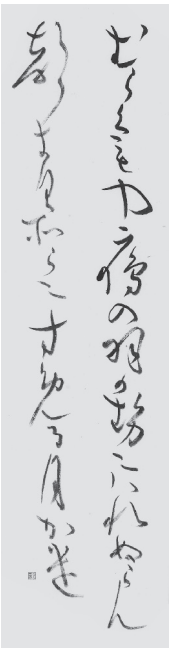

七竹　猪尾志吉　9

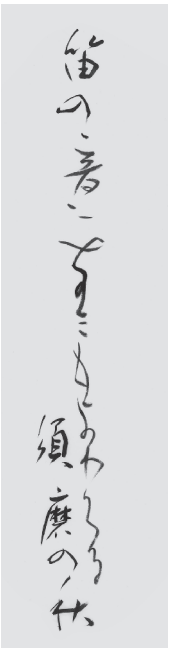

風光　新井弘子　10

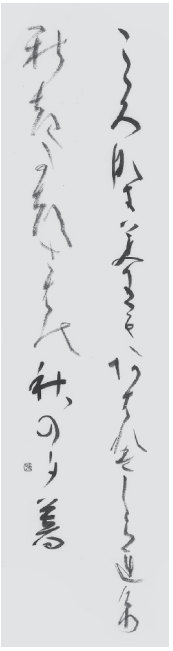

香心　勝間田香心

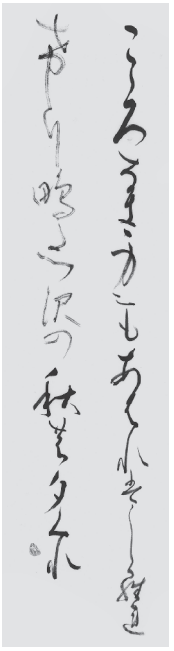

大井　清水　英子

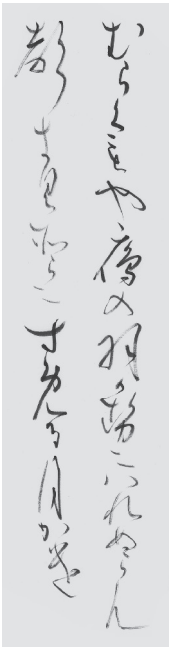

大井　髙木　陽子

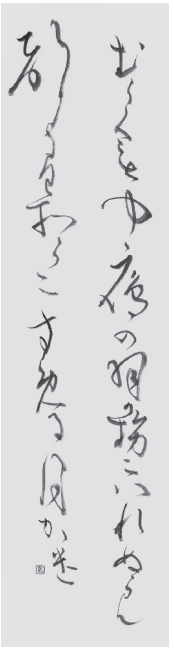

浜　柴崎　紗知

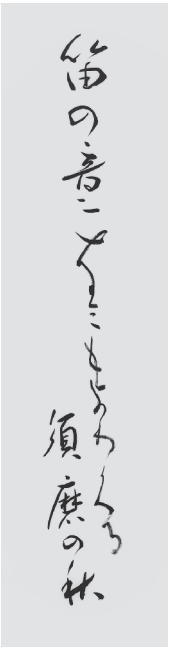

書学　松本　千尋

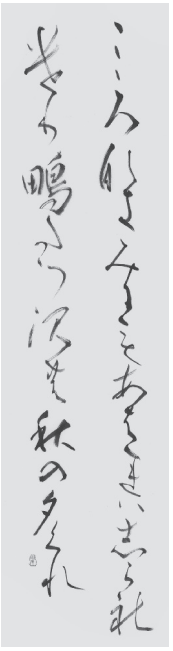

書学　上條　直子

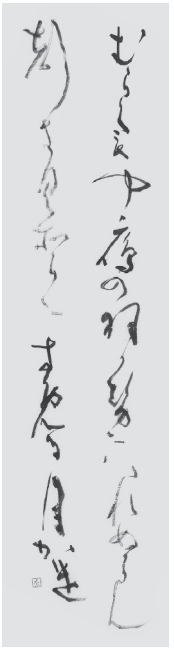

一人　宮崎　恵華

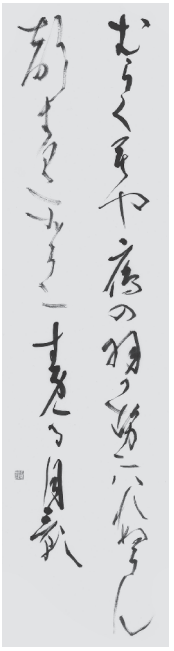

書学　川村三彩子

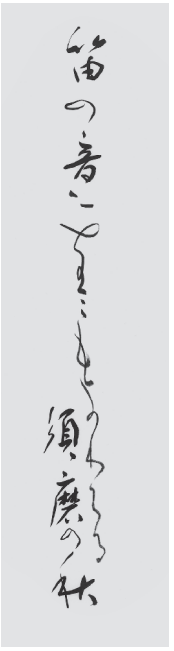

書学　鈴木　紫

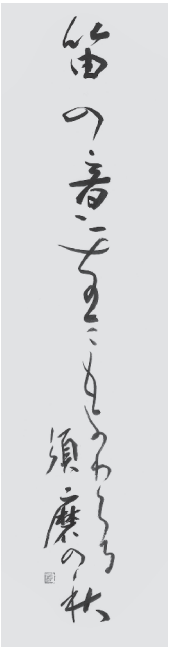

五香　寒河江保恵


ぬま　齊藤　和菁

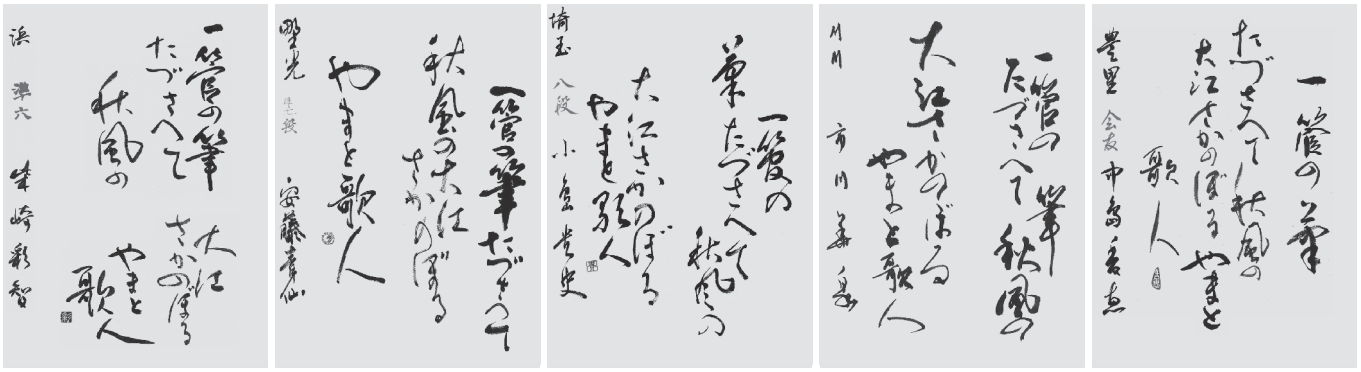

祥瑞　萩原　奈々

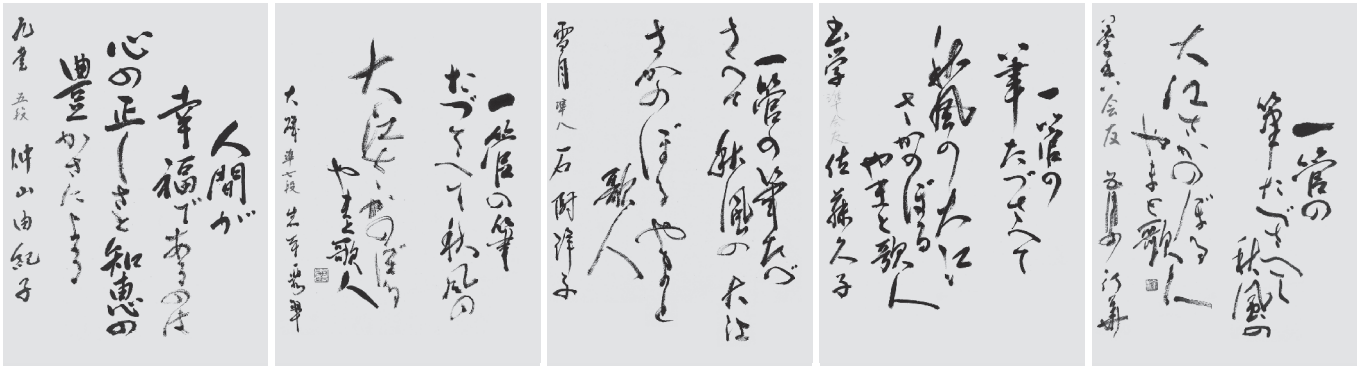

秋月　堀口　静江

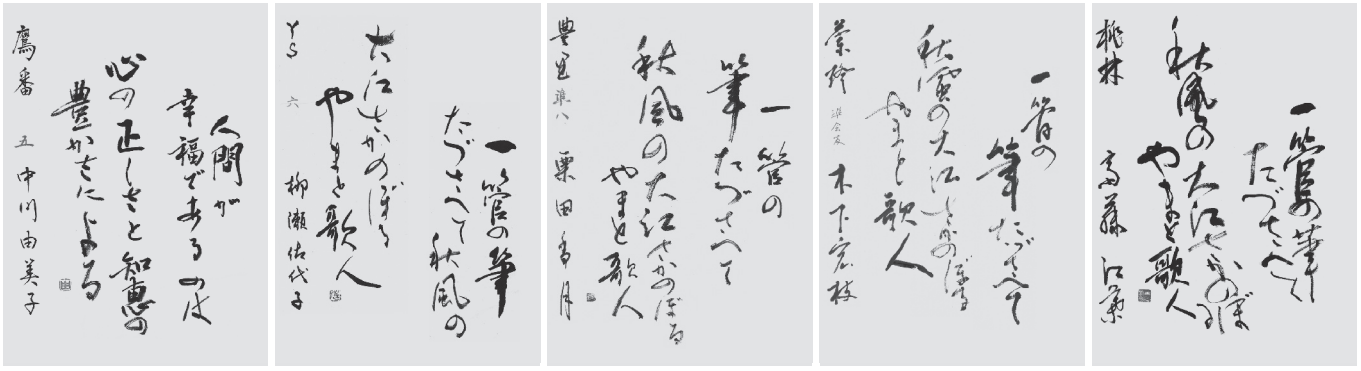

書学　眞田　夏鹿

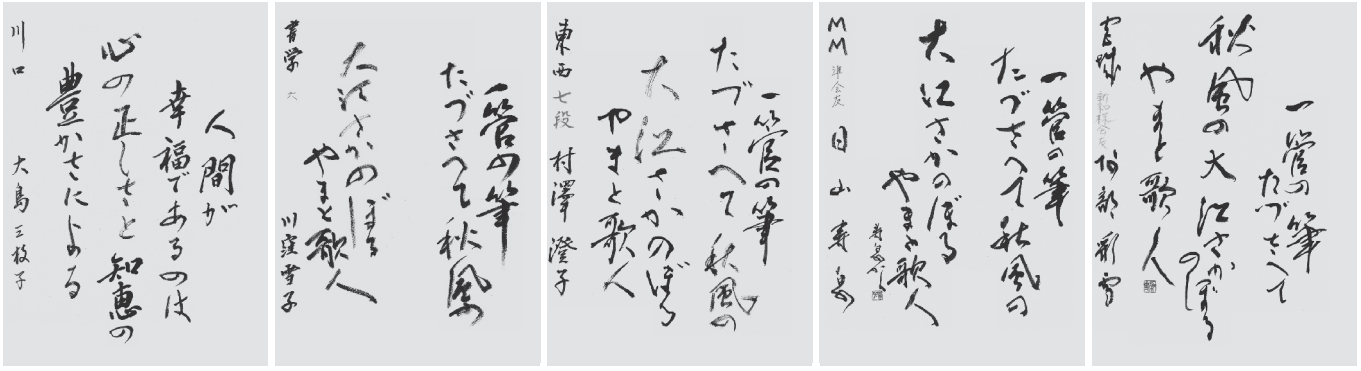

若葉　北畠　楓

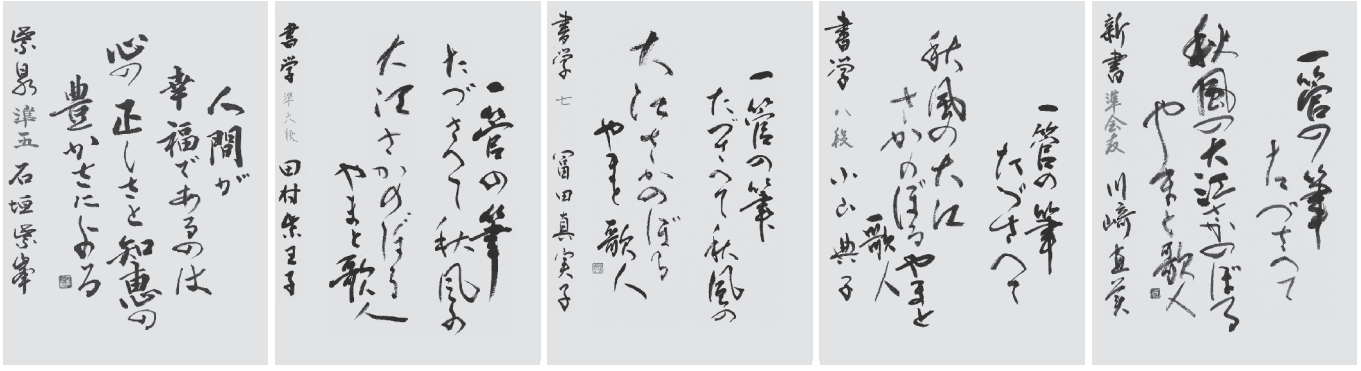
新　和　様　半　紙

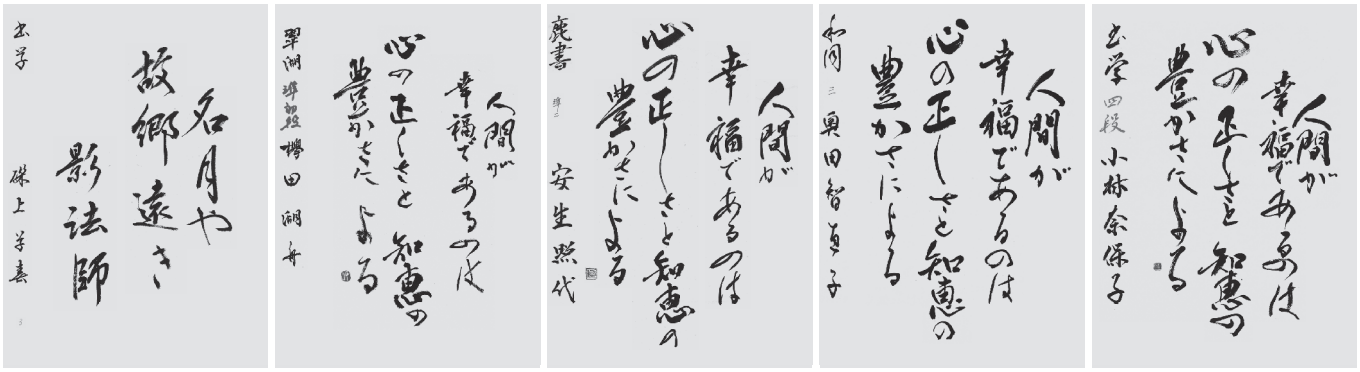










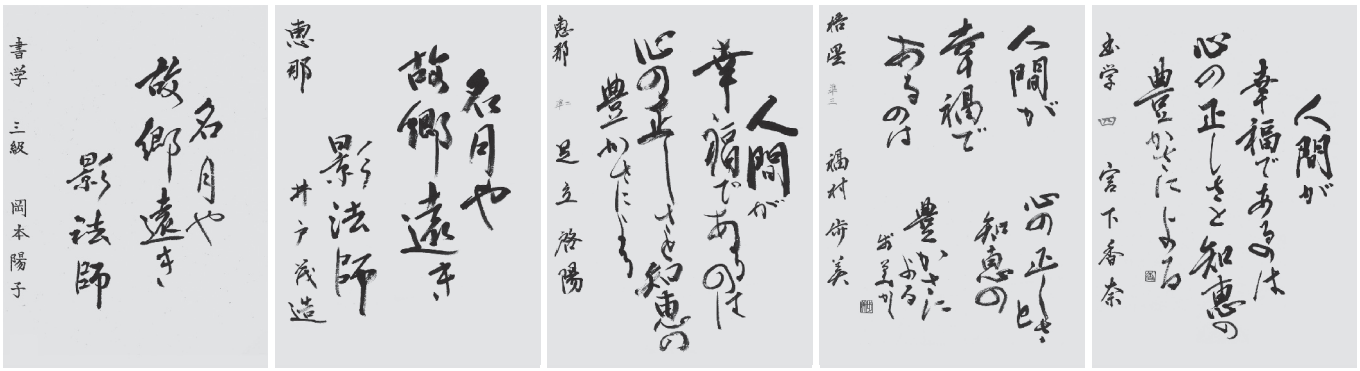

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
小林奈保子

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
奥田智美子

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
安生照代

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる


人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
宮下香奈

人間が
幸福で
あるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
福村俊美

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
足立啓陽

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる

名月や
故郷遠き
影法師

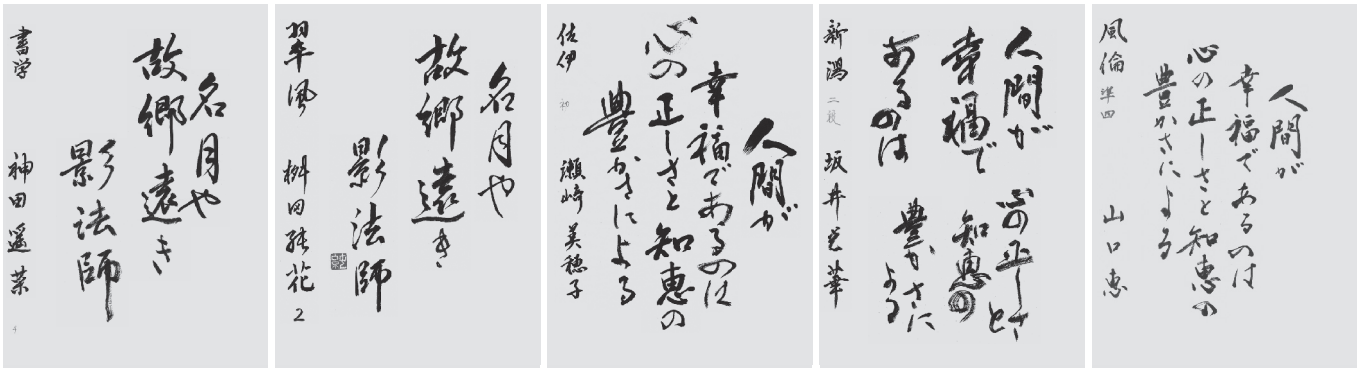

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
河野諒雅

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
栗原美樹

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
増田勝華

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる

名月や
故郷遠き
影法師

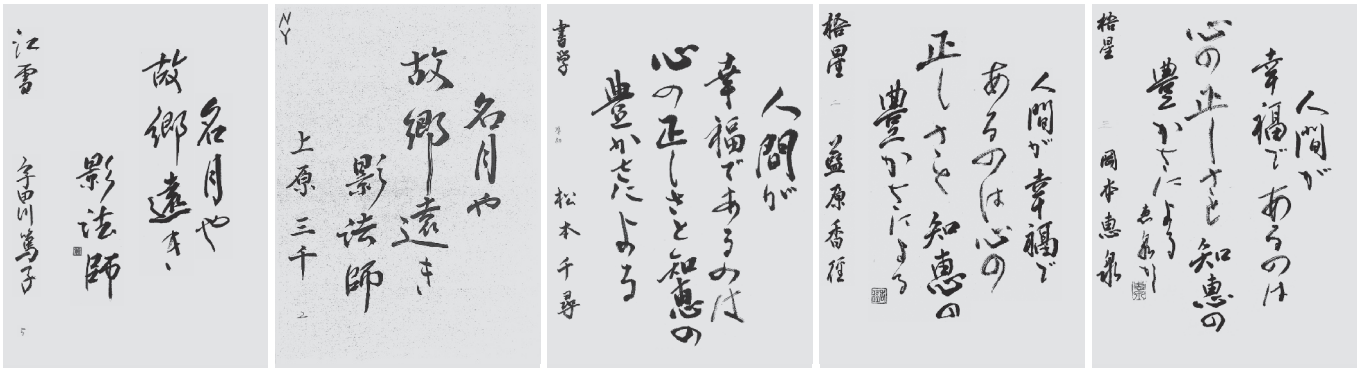

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
山口恵

人間が
幸福で
あるのは
豊かさによる
坂井史華

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
瀬崎美穂子

人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる

名月や
故郷遠き
影法師


人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
岡本恵泉

人間が幸福で
あるのは心の
正しさと知恵の
豊かさによる
益原香穂

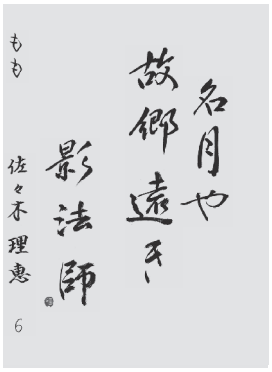
人間が
幸福であるのは
心の正しさと知恵の
豊かさによる
松木千尋

名月や
故郷遠き
影法師

名月や
故郷遠き
影法師

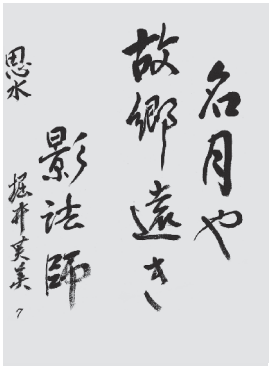
名月や
故郷遠き
影法師

新和様条幅・新和様半紙



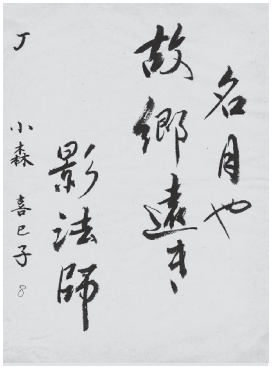
名月や
故郷遠き
影法師

もも　佐々木理恵　6



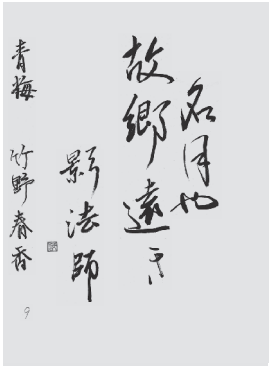
名月や
故郷遠き
影法師

思水　福井美美　7



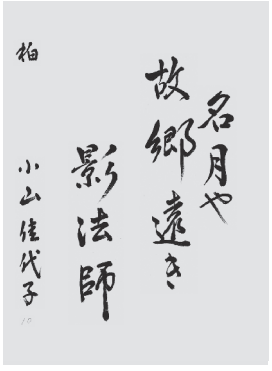
名月や
故郷遠き
影法師

丁　小森喜已子　8



名月や
故郷遠き
影法師

青梅　竹野春香　9



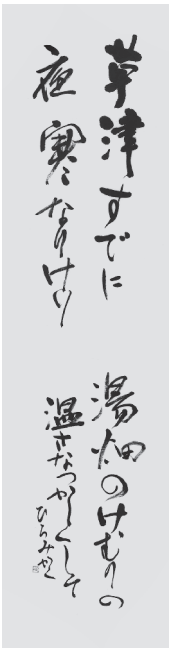
名月や
故郷遠き
影法師

柏　小山佳代子　10



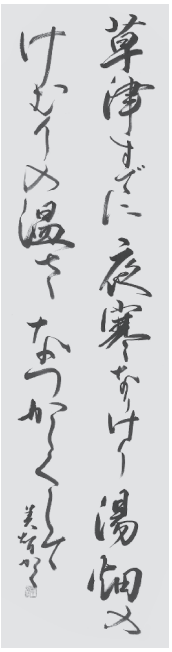
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

新幸　関　栄泉



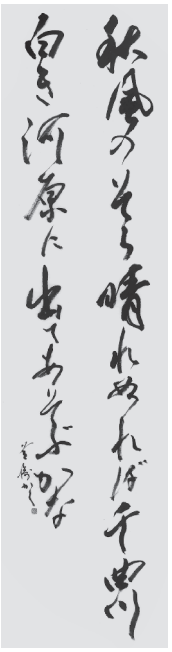
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

皐月　柴尾ひろみ



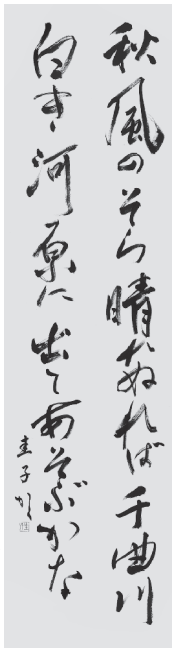
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

志水　竹内美智代



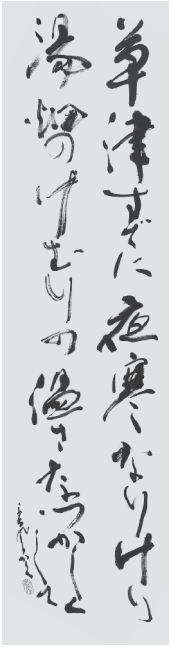
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

洗心　村松　永好



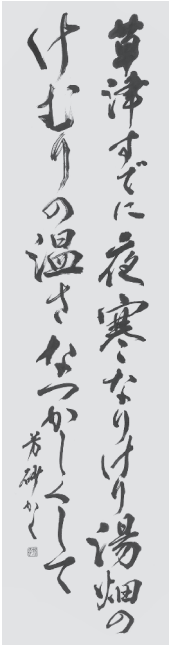
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

梧星　髙橋　圭子



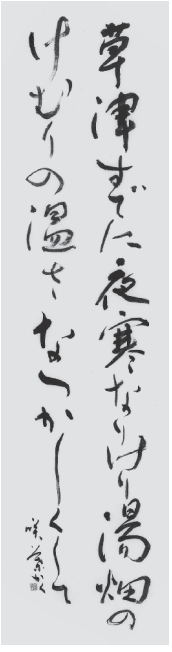
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

百合　外山　香風



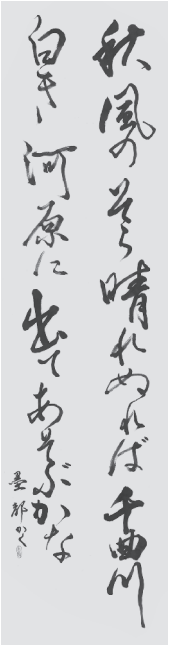
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

書学　松村　邦子



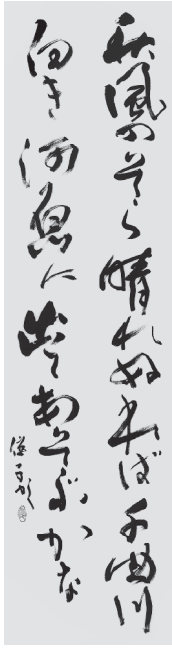
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

YS　柳瀬佐代子



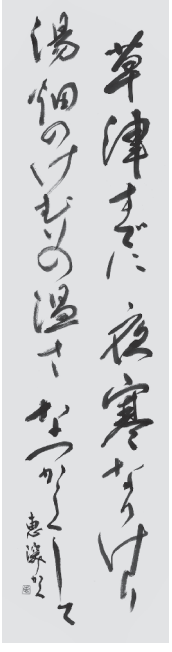
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

青葉　中村　恵子



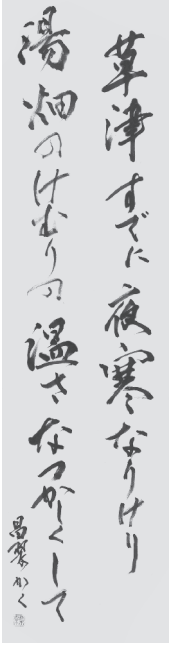
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

梧星　横木　優子



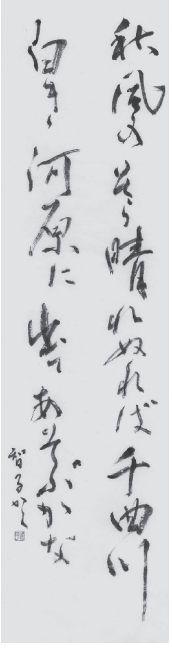
草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

書学　上野　恵深



草津すでに夜寒なりけり湯畑の
けむりの温さ
なつかしくして

書学　福田　昌翠



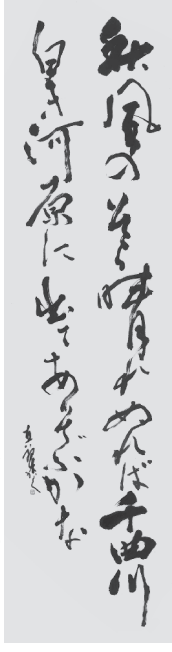
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

幸丘　來栖　智子



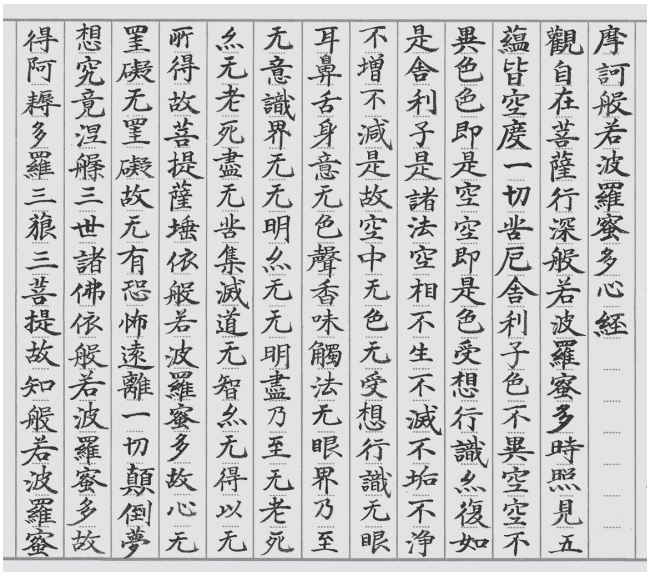
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

梧星　岡本　恵泉



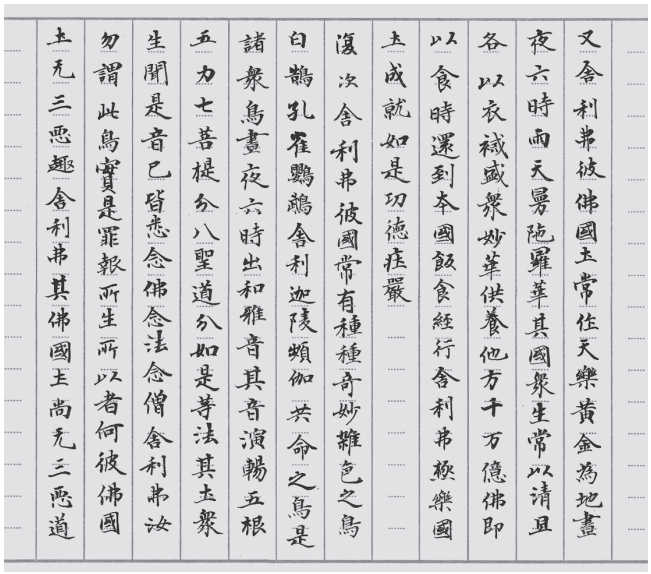
秋風のそら晴れわたれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

水茎　中村真由美



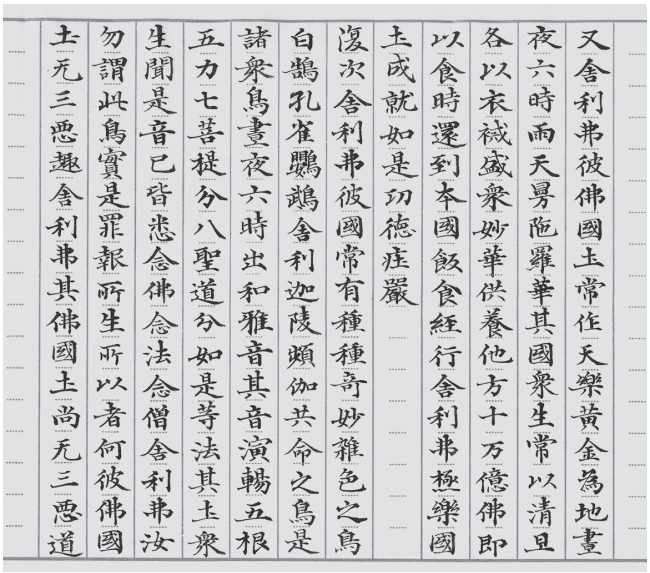
摩訶般若波羅蜜多心経
観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舎利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不浄
不増不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色声香味触法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死
亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

中台　戸田　優子



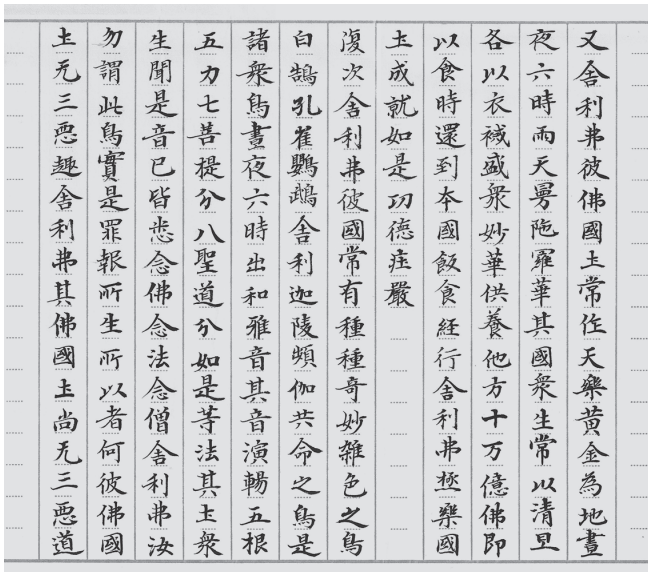
又舎利弗彼佛國土常作天樂黄金為地晝
夜六時雨天曼陀羅華其國衆生常以清旦
各以衣裓盛衆妙華供養他方十万億佛即
以食時還到本國飯食経行舎利弗極樂國
土成就如是功徳荘嚴
復次舎利弗彼國常有種種奇妙雑色之鳥
白鵠孔雀鸚鵡舎利迦陵頻伽共命之鳥是
諸衆鳥晝夜六時出和雅音其音演暢五根
五力七菩提分八聖道分如是等法其土衆
生聞是音已皆悉念佛念法念僧舎利弗汝
勿謂此鳥實是罪報所生所以者何彼佛國
土无三悪趣舎利弗其佛國土尚无三悪道

九書　長谷川裕美



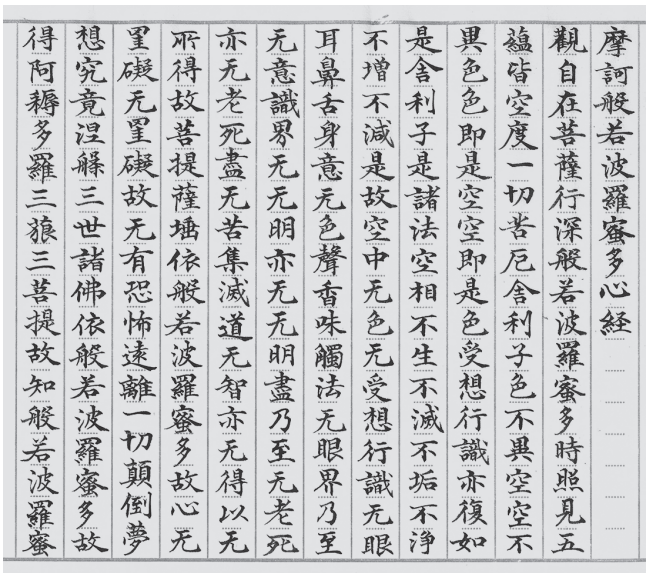
又舎利弗彼佛國土常作天樂黄金為地晝
夜六時雨天曼陀羅華其國衆生常以清旦
各以衣裓盛衆妙華供養他方十万億佛即
以食時還到本國飯食経行舎利弗極樂國
土成就如是功徳荘嚴
復次舎利弗彼國常有種種奇妙雑色之鳥
白鵠孔雀鸚鵡舎利迦陵頻伽共命之鳥是
諸衆鳥晝夜六時出和雅音其音演暢五根
五力七菩提分八聖道分如是等法其土衆
生聞是音已皆悉念佛念法念僧舎利弗汝
勿謂此鳥實是罪報所生所以者何彼佛國
土无三悪趣舎利弗其佛國土尚无三悪道

書学　山根美枝子



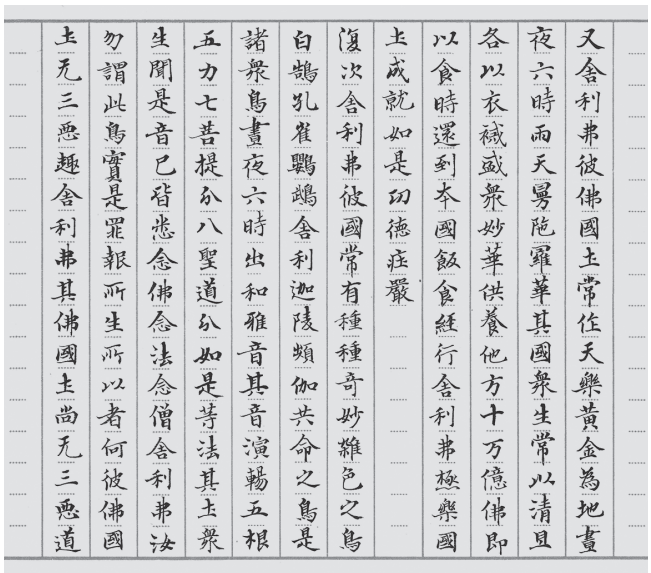
又舎利弗彼佛國土常作天樂黄金為地晝
夜六時雨天曼陀羅華其國衆生常以清旦
各以衣裓盛衆妙華供養他方十万億佛即
以食時還到本國飯食経行舎利弗極樂國
土成就如是功徳荘嚴
復次舎利弗彼國常有種種奇妙雑色之鳥
白鵠孔雀鸚鵡舎利迦陵頻伽共命之鳥是
諸衆鳥晝夜六時出和雅音其音演暢五根
五力七菩提分八聖道分如是等法其土衆
生聞是音已皆悉念佛念法念僧舎利弗汝
勿謂此鳥實是罪報所生所以者何彼佛國
土无三悪趣舎利弗其佛國土尚无三悪道

日報　鳩岡　淳子



摩訶般若波羅蜜多心経
観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舎利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不浄
不増不減是故空中无色无受想行識无眼
耳鼻舌身意无色声香味触法无眼界乃至
无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死
亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心无
罣礙无罣礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜

書学　宮下　香奈



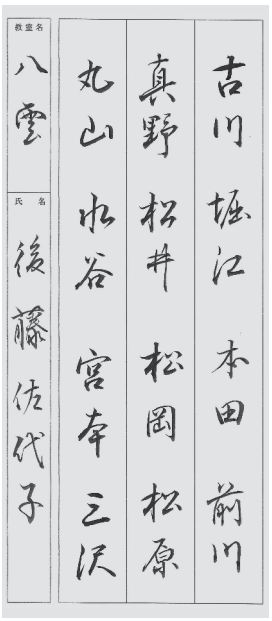
又舎利弗彼佛國土常作天樂黄金為地晝
夜六時雨天曼陀羅華其國衆生常以清旦
各以衣裓盛衆妙華供養他方十万億佛即
以食時還到本國飯食経行舎利弗極樂國
土成就如是功徳荘嚴
復次舎利弗彼國常有種種奇妙雑色之鳥
白鵠孔雀鸚鵡舎利迦陵頻伽共命之鳥是
諸衆鳥晝夜六時出和雅音其音演暢五根
五力七菩提分八聖道分如是等法其土衆
生聞是音已皆悉念佛念法念僧舎利弗汝
勿謂此鳥實是罪報所生所以者何彼佛國
土无三悪趣舎利弗其佛國土尚无三悪道

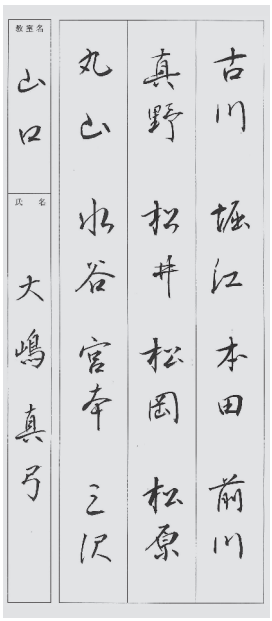
九書　石橋　栄子

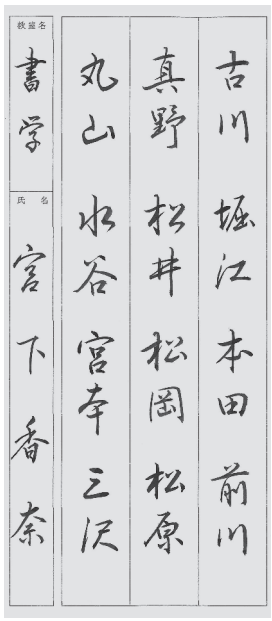
篆刻・実用書

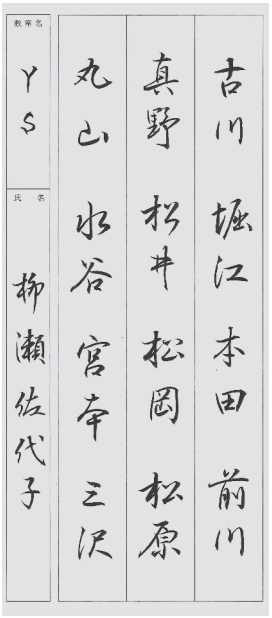
規定「尋思」

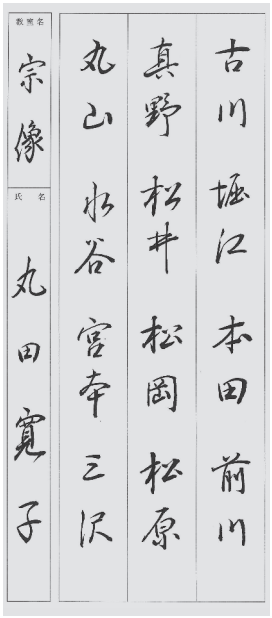
審査評―秋山　凌雲

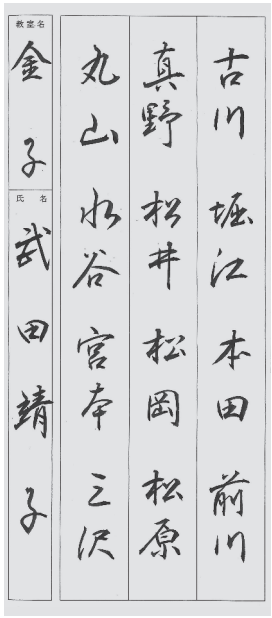


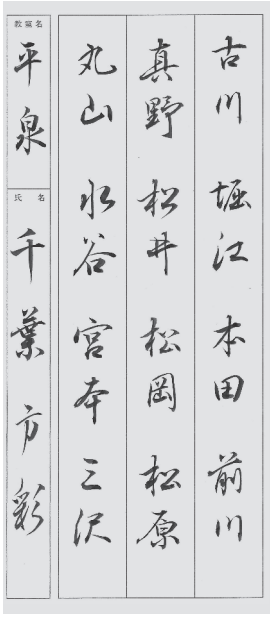


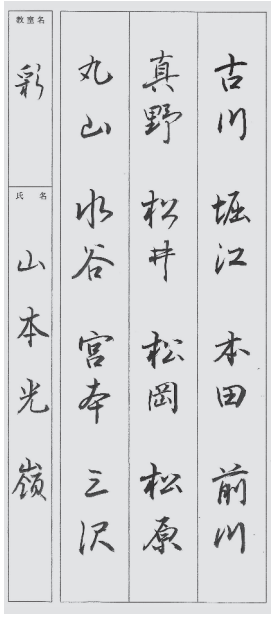














書学　金子　一彦

強靭な運刀による力強い線質の満白印。余白の朱が鮮やかで印象に残る一顆。



書学　髙見　敏久

上密下疎の章法により、のびのびとした明るい作。円勢の効いた線質が穏やかな雰囲気を醸し出している。



書学　髙垣　美葉

初出品ながら奇をてらうことなく基本に忠実で実直な作。丁寧に刻された線質に好感が持てる。

随意「運根鈍」



水茎　山下　啓子

手慣れた運刀により分間が整い、章法も良い。今後は併筆などの古色が加わり、深みの増すことを期待したい。

規定

（穣）



淡墨表現の試行による作品が多く、研究心が際立っていました。



櫻水　滝沢　石楠　淡墨作品中で最も光彩で際立って目立つ作品。筆路は動きにキレがあり、墨色滲み状態、筆圧の強弱も明快である。渇筆線の効果は今一歩。



桑原　佐伯　政子　筆遣いの達者な方である。筆圧の強弱、運筆速度の変化による線質表情に動きの冴えが伝わり自在性に富む作。下部は書き過ぎか。



愛山　大谷　美城　大胆な筆勢と表現力に強さが伝わる。線は絡み合いながら方向を窺い荒々しく線を構築させた造型の動きに注目させられる作。

玉藻　竹野内華城　終始一貫筆脈を闊達に展開させた造型は、息長く堂々とした風貌である。この自然体の運筆には経験の豊かさの結果が表われているのであろう。

審査評―立川　井梧

随意

（ひ）

漢字「比」は「」に、かな「ひ」は「  」のような誤字に見える造型が目立ちました。



佐竹　羽根　由美　かなの筆脈と呼吸を引き入れ、漢字調筆圧で調和を取る巧みな表現力は見事である。筆力は強く光彩あり。造型美、左右の余白は光る。

こず　村岡　初江　前者同様の筆致の心意気で、羊毛筆の柔らかい線条の表出に潤渇の対比は強烈に冴える。表現力の確かさは保障付きである。



ＭＰ　舩木江理子　筆圧の遅速、重軽は妙味を感じさせる。暢びやかな線条には安定感を見せた。余白を考えると押印は反対側がよく小さめの印が適当か。



書学　鴇田真奈美　漢字「比」の造型は、短鋒筆特有の太目の線で力強く安定している。二画目の運筆による渇筆が全体造型を引き上げて効果的である。